



一人一人の自己表現力

副園長 澤田 亮

先日は幼稚園公開にご参加いただき、ありがとうございました。参観したり一緒に遊んだりする中で、きっといろいろな姿が見られたことと思います。一緒に凧を作って走ったり、コマ回しに挑戦したりして、大人も子どもも楽しそうに遊ぶ姿が印象的でした。後日回収した感想用紙には、「自分のやりたいことを見付けられており、教えてくれました」（もも組）、「座る場所に困っている子がいたら『ここだよ』と声を掛けて、仲間思いだなと思いました」（ばら組）、「理由と共に意思を言葉で伝えられるようになってきているのは成長したなと思いました」（ゆり組）など、たくさんの温かい言葉をいただきました。

現在、園内研究を進める中で、子どもの自己表現力を育むための教師の援助を探っています。自己表現とは文字通り、自分の思いや考えを相手に向けて表現することですが、その表現の仕方も方法もとても様々です。思いや考えを言ったのに相手に伝わっていないこともあります。逆に強く言いすぎて相手を傷つけてしまうこともあります。言葉ではなくて絵に描いて伝えようとする子もいれば、動きや音で表現する子もいるでしょう。公開の感想にあったように、自分のやりたいことを楽しむ中で、仲間を思って声を掛けたり、理由を添えて言葉で伝えたりする姿を認め、大事にしていきたいと思っています。

2月は、ゆしまキッズフェスタ part2があります。もも組では、動物になりきって動いて自分なりの表現を楽しんでいます。ばら組では、好きな遊びで楽しみながら劇に必要な物を作っています。ゆり組では、友達同士相談したり考えを出し合ったりして劇を少しずつ作っています。当日に向けた取り組みの中で、一人一人が自分を表現する楽しさや嬉しさを味わえるようにしていきたいと思っています。



動物になりきって
お家ごっこ



ふわふわにできあが
ってきたね！



友達と協力して
大きな木を作ろう

個人的に素敵だなと思った感想から…

「日頃から手のかかる我が子に寄り添い続けてくださっている先生のおかげはもちろんですが、平日はいつも帰りが遅く、私の子育てにほとんど参加できていない中で、粘り強く子どもと向き合い、日々の成長を支えてくれている妻に改めて感謝したいと思います。ありがとう」